

2 0 2 3 年 度

地方創生の取組概要

説 明 資 料

豊岡市 政策調整部 政策調整課

地方創生の取組概要（目次）

I	2023年度 地方創生の戦略体系	7
II	2023年度 地方創生事業の手段別予算概要	8
III	2023年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要	12

【戦略目的】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
	01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている	
	No.1 情報戦略推進(豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝)【継続】	13
	No.2 UIターン推進(飛んでるローカル豊岡運營業務)【継続】	15
	No.3 企業版ふるさと納税の獲得推進【拡大】	16
	重複 (No.12) 豊岡スマートコミュニティ推進機構	
	重複 (No.15) 地域おこし協力隊の推進	
	重複 (No.24) 観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	
	01-02 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
	No.4 UIターン推進(ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック)【継続】	17
	No.5 UIターン推進(高校生の総合学習等支援)【継続】	18
	01-03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている	
	No.6 UIターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)【拡大】	20
	No.7 定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)【拡大】	21
	重複 (No.15) 地域おこし協力隊の推進	
02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
	02-01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている	
	No.8 IT企業誘致推進【継続】	23
	No.9 スマート農業推進【継続】	25
	02-02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
	No.10 内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)【継続】	26
	No.11 政策アドバイザー設置【継続】	28
	No.12 豊岡スマートコミュニティ推進機構【継続】	29
	No.13 新規就農総合支援【継続】	30
	No.14 豊岡農業スクール【継続】	31
	No.15 地域おこし協力隊の推進【継続】	32

02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	
	No.16 豊岡靴ブランドPR推進【継続】	33
	重複 (No.9)スマート農業推進	
	重複 (No.29)コウノトリ育むお米ブランド化推進	
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	
	No.17 多文化共生推進【拡大】	35
	重複 (No.6)UIターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)	
	重複 (No.15)地域おこし協力隊の推進	
03	いきいきと暮らす女性が増えている	
	03-01 性別に関わらず地域での協働が進んでいる	
	No.18 ジェンダーギャップ解消推進【拡大】	37
	No.19 子育て広場管理【継続】	38
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	
	重複 (No.18)ジェンダーギャップ解消推進	
	重複 (No.19)子育て広場管理	
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	
	No.21 ワークイノベーション推進【継続】	42
	No.22 子育て中の女性の就労促進【継続】	43
04	豊岡で人々が世界と出会っている	
	04-01 世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
	No.23 城崎温泉街交通環境改善【継続】	45
	No.24 観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)【継続】	47
	No.25 観光まちづくり推進(専門人材配置)【継続】	48
	No.26 インバウンド誘客推進【継続】	49
	No.27 豊岡演劇祭協同開催【継続】	51
	No.28 文化観光推進【継続】	52
	04-02 メイドイン豊岡が世界に広がっている	
	No.29 コウノトリ育むお米ブランド化推進【継続】	53
	重複 (No.34)アーティスト・イン・レジデンス	

04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
	No.30	出石永楽館歌舞伎開催【継続】	55	
	No.31	豊岡アートシーズン2023【継続】	56	
	No.32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2023参加)【継続】	58	
	No.33	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2023参加等)【継続】	59	
	No.34	アーティスト・イン・レジデンス【継続】	61	
	No.35	専門職大学連携推進(移住等促進事業)【継続】	62	
	No.36	演劇のまちづくり推進【継続】	63	
	重複	(No.15)地域おこし協力隊の推進		
	重複	(No.17)多文化共生推進		
	重複	(No.27)豊岡演劇祭協同開催		
	重複	(No.37)専門職大学連携推進(地域連携事業)		
	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
No.37		専門職大学連携推進(地域連携事業)【継続】	64	
重複		(No.5)UIターン推進(高校生の総合学習等支援)		
重複		(No.27)豊岡演劇祭協同開催		
重複		(No.41)英語教育推進		
05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている			
	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
		No.38	ふるさと教育推進【継続】	66
		No.39	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり【継続】	67
		重複	(No.5)UIターン推進(高校生の総合学習等支援)	
	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている		
		重複	(No.5)UIターン推進(高校生の総合学習等支援)	
	重複	(No.38)ふるさと教育推進		
	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
		No.40	コミュニケーション教育推進【継続】	70
		No.41	英語教育推進【継続】	71
		No.42	非認知能力向上対策【拡大】	72
		No.43	英語遊び保育推進【継続】	73

06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	
	No.44 若者独身者交流【継続】	75
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	
	No.45 ボランティア仲人養成(WEDDINGプロデュース大作戦)【継続】	76
	No.46 出会い機会創出(はーとピー)【継続】	77
	重複 (No.44)若者独身者交流	
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
	No.47 ボランティア仲人養成(縁むすびさん)【継続】	79
	No.48 結婚相談所機能拡充【継続】	81
	No.49 結婚・女性活躍推進調査【継続】	82
	重複 (No.46)出会い機会創出(はーとピー)	

I 2023年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	
	主要手段—具体的手段	2023年度事業(*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載)
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	情報戦略推進(豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝)、Uターン推進(飛んでるローカル豊岡運營業務)、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、企業版ふるさと納税の獲得推進、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進(ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック)、Uターン推進(高校生の総合学習等支援)
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Uターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)、定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	IT企業誘致推進、スマート農業推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡産物ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、Uターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)〔重複〕、専門職大学連携推進(移住等促進事業)〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)、観光まちづくり推進(専門人材配置)、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観光推進
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2023、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2023参加)、城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2023参加等)、アーティスト・イン・レジデンス、専門職大学連携(移住等促進事業)、演劇のまちづくり推進、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進(地域連携事業)〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進(地域連携事業)、Uターン推進(高校生の総合学習等支援)〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おっとりっしゃ!とよおかのものづくり、Uターン推進(高校生の総合学習等支援)〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	Uターン推進(高校生の総合学習等支援)〔重複〕、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	若者独身者交流
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	ボランティア仲人養成(WEDDINGプロデュース大作戦)、出会い機会創出(はーとピー)、若者独身者交流〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成(縁むすびさん)、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、出会い機会創出(はーとピー)〔重複〕

Ⅱ 2023年度 地方創生事業の手段別予算概要

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)
【01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	01 豊岡の良さが内外に伝わっている
	02 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている
01手段小計(6事業) ※重複は除く	
【02】 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている
	02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03 豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
	04 市民が多様な人々を受け入れている
02手段小計(10事業) ※重複は除く	
【03】 いきいきと暮らす女性が増えている	01 性別に関わらず地域での協働が進んでいる
	02 性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	03 ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
03手段小計(5事業) ※重複は除く	
【04】 豊岡で人々が世界と出会っている	01 世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる

(単位:千円)

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	情報戦略推進(豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝)	4,491	大交流課
2	Uターン推進(飛んでるローカル豊岡運営業務)	2,669	環境経済課
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	3,394	政策調整課、大交流課
重複	(No.12)豊岡スマートコミュニティ推進機構	—	—
重複	(No.15)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.24)観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	—	—
4	Uターン推進(ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック)	1,877	環境経済課
5	Uターン推進(高校生の総合学習等支援)	2,100	環境経済課
6	Uターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)	7,418	環境経済課
7	定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)	23,900	環境経済課
重複	(No.15)地域おこし協力隊の推進	—	—
		45,849	
8	IT企業誘致推進	19,892	環境経済課
9	スマート農業推進	363	農林水産課
10	内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	58,220	環境経済課
11	政策アドバイザー設置	3,000	大交流課
12	豊岡スマートコミュニティ推進機構	1,114	DX・行財政改革推進課
13	新規就農総合支援	37,485	農林水産課
14	豊岡農業スクール	11,687	農林水産課
15	地域おこし協力隊の推進	222,717	環境経済課
16	豊岡靴ブランドPR推進	2,956	環境経済課
重複	(No.9)スマート農業推進	—	—
重複	(No.29)コウホトリ育むお米ブランド化推進	—	—
17	多文化共生推進	8,963	生涯学習課
重複	(No.6)Uターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)	—	—
重複	(No.15)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.35)専門職大学連携推進(移住等促進事業)	—	—
		366,397	
18	ジェンダーギャップ解消推進	7,054	ジェンダーギャップ対策室
19	子育て広場管理	196	健康増進課
20	ファミリーサポートセンター	1,510	こども育成課
重複	(No.18)ジェンダーギャップ解消推進	—	—
重複	(No.19)子育て広場管理	—	—
21	ワークイノベーション推進	5,937	ジェンダーギャップ対策室
22	子育て中の女性の就労促進	5,193	ジェンダーギャップ対策室
		19,890	
23	城崎温泉街交通環境改善	389	建設課
24	観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	13,468	大交流課
25	観光まちづくり推進(専門人材配置)	49,515	大交流課
26	インバウンド誘客推進	29,999	大交流課
27	豊岡演劇祭協同開催	59,333	大交流課
28	文化観光推進	10,460	大交流課

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
04手段小計(15事業) ※重複は除く		
【05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
05手段小計(7事業) ※重複は除く		
【06】 結婚したいと思う人が結婚できている	01	若者が集い、交流する場が増えている
	02	多種多様な出会いの機会が充実している
	03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
06手段小計(6事業) ※重複は除く		
2023地方創生(49事業) 総計		
※参考 2022地方創生(51事業)		

事業No.	事業名	予算額	担当課
29	コウノトリ育むお米ブランド化推進	—	農林水産課
重複	(No.34)アーティストインレジデンス	—	—
30	出石永楽館歌舞伎開催	79,740	出石振興局地域振興課
31	豊岡アートシーズン2023	9,985	文化・スポーツ振興課
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2023参加)	7,000	生涯学習課
33	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2023参加等)	24,170	大交流課
34	アーティスト・イン・レジデンス	18,270	大交流課
35	専門職大学連携推進(移住等促進事業)	453	大交流課
36	演劇のまちづくり推進	2,000	大交流課
重複	(No.15)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.17)多文化共生推進	—	—
重複	(No.27)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.37)専門職大学連携推進(地域連携事業)	—	—
37	専門職大学連携推進(地域連携事業)	11,431	大交流課
重複	(No.5)Uターン推進(高校生の総合学習等支援)	—	—
重複	(No.27)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.41)英語教育推進	—	—
		316,213	
38	ふるさと教育推進	2,600	こども教育課
39	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	400	環境経済課
重複	(No.5)Uターン推進(高校生の総合学習等支援)	—	—
重複	(No.5)Uターン推進(高校生の総合学習等支援)	—	環境経済課
重複	(No.38)ふるさと教育推進	—	—
40	コミュニケーション教育推進	499	こども教育課
41	英語教育推進	11,210	こども教育課
42	非認知能力向上対策	4,335	こども教育課
43	英語遊び保育推進	2,666	こども育成課
		21,710	
44	若者独身者交流	428	健康増進課
45	ボランティア仲人養成(WEDDINGプロデュース大作戦)	778	健康増進課
46	出会い機会創出(はーとピー)	2,801	健康増進課
重複	(No.44)若者独身者交流	—	—
47	ボランティア仲人養成(縁むすびさん)	1,808	健康増進課
48	結婚相談所機能拡充	500	健康増進課
49	結婚・女性活躍推進調査	453	健康増進課
重複	(No.46)出会い機会創出(はーとピー)	—	—
		6,768	
		776,827	※対前年比 86.2%
		(900,939)	

※担当課は2022年度の組織名で記載しています。

Ⅲ 2023 年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要

1 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）

上位目的 (最終アウトカム)	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的 (中間アウトカム)	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

【2040 年の豊岡市の政策目標人口 ⇒ 62,165 人】

- (1) 若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）
 - ・ 2015 年「39.5%」⇒ 2025 年までに「50%」に引き上げる
- (2) 合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）
 - ・ 2015 年「1.82 人」⇒ 2035 年までに「2.3 人」に引き上げる

（参考：若者回復率 ～2015 年国勢調査時と 2020 年国勢調査時の比較～）

	2015 年国勢調査 (2010→2015 年)	2020 年国勢調査 (2015→2020 年)	
全体	39.5%	35.3%	(△4.2ポイント)
男	52.2%	41.6%	(△10.6ポイント)
女	26.7%	28.5%	(+1.8ポイント)

2 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市—Local&Global City—」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇らせ、地域活力の維持を図る。

「上位目的」（※最終アウトカム：豊岡市地方創生総合戦略において長期的に実現したい状態）を実現するために、「戦略目的」（※中間アウトカム：当面 5 年間程度で達成したい状態）を定め、戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この戦略目的に、それぞれ主要手段と、その主要手段を実現するための具体的手段を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

具体的手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	2023年度 予算額	10,554 千円
-------	-------	-----------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
1	情報戦略推進 (豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝)	4,491 千円	継続
2	UIターン推進 (飛んでるローカル豊岡運營業務)	2,669 千円	継続
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	3,394 千円	拡大
重複	(No.12) 豊岡スマートコミュニティ推進機構	(1,114 千円)	—
重複	(No.15) 地域おこし協力隊の推進	(222,717 千円)	—
重複	(No.24) 観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	(13,468 千円)	—
合計		10,554 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
No. 1	事業名	2023年度 予算額	4,491 千円	新規 継続 拡大
	情報戦略推進 (豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝)			

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン”が増え、“豊岡ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の取組み・理念に共感した支持者（サポーター）であり、周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン”との関係を構築・強化することで、旅の目的地・滞在地としての認知向上につなげるとともに、庁内の横断的な連携を行うことで、市全体としての情報発信を強化し、本市の取組みに共感し、参画していただく企業・個人を増やす。

1 事業内容

- (1) 豊岡ファンミーティングの開催【1,722千円】

本市の取組み（理念）に共感し、周囲に本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファ

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

ン”との関係を深める場として、“豊岡ファンミーティング”を市内で開催する。

ア 開催時期

2023年9～10月頃

イ 開催場所

市内（2022年度は出石で開催）

ウ 事業内容

(ア) “豊岡ファン”へ市の取組みを紹介（情報のアップデート）

(イ) 豊岡市内キーパーソンと“豊岡ファン”との交流会を実施



豊岡ファンミーティング 2022

(2) 庁内情報発信強化業務【269千円】

各施策の情報発信強化を行うとともに、本市の特徴的な施策を横断的に発信することで、効果的かつ効率的な情報訴求を行う。

ア 情報発信課題を解決するための勉強会の開催

イ 庁内情報発信共有会の定期開催

(3) 広告・宣伝業務【2,500千円】

豊岡のローカルを的確に訴求し、豊岡に関わりたいと思う企業やメディア等の拡大、観光目的地、移住地としての認知を高めるための広告・宣伝を行う。

ア PR広告代行業務

PR会社を活用したプレスリリース配信・プレスツアー実施

イ 雑誌広告

首都圏への情報発信を目的とした雑誌広告による情報発信

2 事業期間

2009年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,491千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
No. 2 事業名	UIターン推進 (飛んでるローカル豊岡運營業務)	2023年度 予算額	2,669 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者のUIターンへの意識が醸成されている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住を検討する際に必要な情報（暮らし・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。

1 事業内容

- (1) 移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」等による情報発信
市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事やSNSで発信する。併せて、住まい、仕事、支援制度などの情報も発信する。
- (2) 移住ポータルサイトの保守管理及び修正・更新
ウェブサイトのシステム保守やデザイン変更、新規ページの作成など。

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,669千円



移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」



市民ライターによる記事

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている			
No. 3	事業名	企業版ふるさと納税の獲得 推進	2023年度 予算額	3,394 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン”が増え、“豊岡ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の人口減少の量的緩和及び地域活力維持の質的転換による地方創生をさらに推進するための財源を確保するとともに、本市の取組みに共感する企業を増やすため、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。

1 事業内容

(1) 企業版ふるさと納税の獲得

深さをもった演劇のまちづくり、ジェンダーギャップの解消等、本市が進める地方創生の取組みに共感する企業に対して、企業版ふるさと納税支援サービス等を活用して積極的にアプローチを行うなど、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。

2 事業期間

2020年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,394千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

【政策調整課】（内線2081）

具体的手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	2023年度 予算額	3,977千円
-------	-------	-----------------------	---------------	---------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
4	U I ターン推進 (ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック)	1,877千円	継続
5	U I ターン推進 (高校生の総合学習等支援)	2,100千円	継続
合計		3,977千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No. 4	事業名	U I ターン推進 (ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック)	2023年度 予算額	1,877千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 企業情報や仕事のやりがいがだけでなく、豊岡での暮らしや楽しみ方を併せて情報発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Uターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

- 合同企業説明会等の開催や豊岡で働く魅力や暮らしの情報発信など、オンラインを含め、機会を捉えてU I ターン希望者にマッチした情報を届ける。また、高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報を発信することでUターンを促進する。

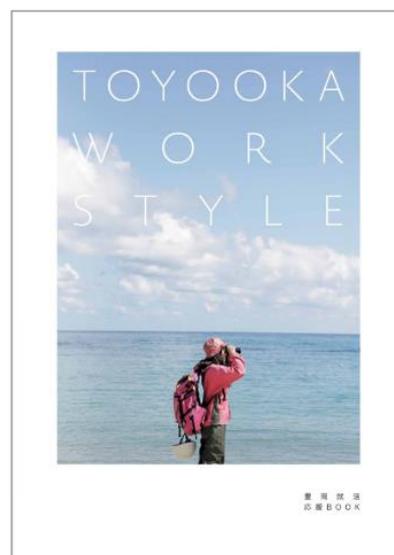
1 事業内容

- (1) ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営【77千円】
 - ア U I ターン希望者の無料職業紹介所「ジョブサポ豊岡」の運営
 - イ 求人・企業情報サイト「ジョブナビ豊岡」での情報発信
市内登録企業約100社の企業情報・しごと情報を掲載
サイト管理及び更新業務
- (2) しごと相談会の実施【1,600千円】
就活イベント（市内企業30社の参加を想定）の実施。
- (3) 就活応援ブック（冊子と電子ブックで魅力紹介）【200千円】
若者の多様な働き方や、市内在住者のおすすめスポットなどを紹介した冊子を作成。市内の高校を通じて大学生等に配布する。
電子ブックには市内の企業情報も掲載し、ジョブナビ豊岡の各企業ページともリンクさせ、スマートフォン等で閲覧可能。

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

※2022年度作成分の増刷（内容の更新は行わない）。

- 2 事業期間
2015年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額（補助率・負担率等）
1,877千円



就活応援ブック（2022作成）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No. 5	事業名	UIターン推進 (高校生の総合学習等支援)	2023年度 予算額	2,100 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡が好きになり、地域をより良くしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 学校内での活動において、豊岡市の演劇を用いたまちづくりや地域資源について知る機会を設け、豊岡の可能性に気付いてもらう。
また、学校外においても地域住民と関わりながら地域を活性化する企画に携わることで、当事者意識やシビックプライドを醸成する。

1 事業内容

(1) 学校内での活動支援

ア 地域探究活動

地域課題解決に向けた総合学習や体験活動を通じて地域探究を行う。豊岡高校、近大豊岡高校、大岡学園で実施予定。

イ 仕事や企業の探求活動

仕事体験イベントや企業見学、講演会の実施。豊岡総合高校、出石高校、豊岡高校定時制で実施予定。

(2) 学校外での活動支援

高校生キャリア塾等の活動支援

但馬夢テーブル委員会（事務局：兵庫県但馬県民局）が高校生を対象にしたキ

主要手段01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

キャリア塾や地域活性化プロジェクトを実施。

2 事業期間

2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,100千円



仕事体験会の様子



大学生が講師となり、大学生活や進路について話を聞く「教えて、先輩！」の様子

担当課名【環境経済課】（内線2301）

具体的手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	2023年度 予算額	31,318千円
-------	-------	------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
6	UIターン推進 (民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)	7,418千円	拡大
7	定住推進 (移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)	23,900千円	拡大
重複	(No.15) 地域おこし協力隊の推進	(222,717千円)	—
合計		31,318千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている			
No.6	事業名	UIターン推進 (民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等)	2023年度 予算額	7,418千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡市への移住を検討する人に寄り添い、移住定住に結び付ける。また、移住（希望）者と地域住民との交流の場を設けることにより地域への関心を高め、移住意欲の高まりや移住後の定着につなげる。

《事業目的（趣旨）》

- 移住希望者が求める情報を的確に提供する。また、地域と関わる企画について情報発信を行い、移住相談時に地域住民との新たなつながりを創出する。

1 事業内容

- (1) 市ワンストップ窓口の設置【352千円】
移住希望者への「暮らし・住まい・仕事等」の情報提供やマッチングを行うワンストップ窓口の設置。
- (2) 移住イベントへの出展【532千円】
潜在的な移住希望者が多い都市圏（東京・大阪）での移住イベントに出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住につなげる。
- (3) 民間移住相談窓口の設置【3,432千円】
移住相談と現地案内等の業務の一部を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行うなど、行政と連携・協力して移住を推進する。
- (4) 移住スカウトサービス「SMOUT」の運用【352千円】
移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「SMOUT（スマウト）」を活用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージの

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

やりとりを通して、移住者及び関係人口の増加を図る。

- (5) 空き家実態調査実証業務【660千円】
専用アプリを用いた空き家調査を市内の数カ所で行う。調査データをデジタル化し情報管理することで、空き家の情報発信等に活用する。
- (6) 婚活×移住イベント【新規】【2,090千円】
地方で暮らしたい男性と、豊岡に住み続けたい女性のマッチングを目的とした婚活事業を実施する。「スキー・スノーボード」「釣り」「アウトドアキャンプ」など地方ならではの趣味をテーマとし、共通の趣味を通じて出会う場を提供することで将来的な移住にもつなげる。

2 事業期間
2016年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
7,418千円
（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2
移住・定住・交流推進支援事業助成金 助成率：助成対象額の10/10）



移住スカウトサービス「SMOUT」を活用した情報発信。
「SMOUT 移住アワード（人気移住地域ランキング）」
で3年連続（2019-2021）全国TOP3入り

担当課名【環境経済課】（内線2301）

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No. 7	事業名 定住推進 （移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）	2023年度 予算額	23,900 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○ 移住定住を検討する方々に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》
○ 移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を高め、移住を促進する。

1 事業内容

- (1) 移住への各ステージに応じた支援【13,900千円】
 - ア 移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金）【600千円】
 - (ア) 航空運賃（補助率定額 1人当たり片道4,000円）
 - (イ) 宿泊費（補助率定額 大人2,000円/人、子ども1,000円/人）
 - (ウ) レンタカー借受費用（補助率定額 3,000円/日）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

イ 移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金）【13,000千円】

- (ア) 引越し費用（補助率10/10 上限200千円）
- (イ) 住宅（空き家）改修費（補助率2/3、上限1,000千円）
- (ウ) 賃貸用空家の清掃費等（補助率10/10 上限100千円）

ウ 移住後の生活支援【300千円】

コウノトリ育む農法のお米（10kg）贈呈

(2) 空き家等を活用した学生向けシェアハウス整備補助金【8,400千円】

市内の空き家を対象として、学生向けシェアハウスの整備に要する経費の一部を補助する。

ア 建物改修補助上限：3,000千円×2件

イ 耐震改修補助上限：1,200千円×2件【新規】

(3) 東京圏からの移住支援金【1,600千円】

国の制度を活用し、東京圏からの移住者に移住支援金を交付する。

世帯移住：1,000千円＋子300千円×2人（※）

※18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合一人あたり300千円加算

2 事業期間
2010年度～

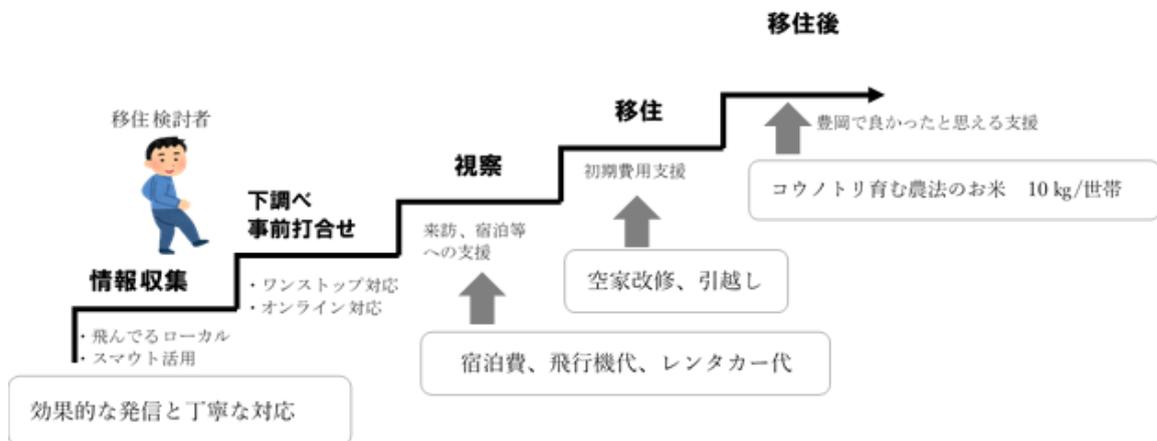
3 事業主体
豊岡市



飛んでるローカル豊岡の空き家物件情報

4 予算額（補助率・負担率等）

23,900千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



担当課名【環境経済課】（内線2301）

具体的 手 段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	2023 年度 予算額	20,255 千円
------------	-------	----------------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
8	I T 企業誘致推進	19,892 千円	継続
9	スマート農業推進	363 千円	継続
合計		20,255 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている			
No. 8	事業名	I T 企業誘致推進	2023 年度 予算額	19,892 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、U I ターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 若者や女性が働きたい職場となることが期待される I T 企業等を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。

1 事業内容

(1) オンライン方式による I T 企業誘致活動【5,045千円】

- ア 自治体との協働事業を希望する事業者や、地方にサテライトオフィス等の開設を検討する事業者をターゲット企業に設定する。
- イ オンラインマッチングイベント（※）への参加によりターゲット企業へ接触し、市内誘致に向けた視察ツアーを実施するなど、市との関係性を構築する。
※地方へのビジネス参入を検討する企業と I T 企業等のサテライトオフィス誘致を目指す自治体がオンライン上で面談するイベント
- ウ ターゲット企業が有する技術を活用できる地域課題や、市内立地に興味を引くような施設・人物等の記事を W E B ライターが作成して S N S で発信する。
- エ 地域課題の解決をターゲット企業にビジネスチャンスと捉えてもらうことで誘致につなげる。
- オ 上記のア～エを円滑に実施するため、ターゲット企業選定に係る指導・助言、市内視察ツアーのアテンド、ターゲット企業の市内進出における課題整理等への支援について業務委託を行う。

(2) IT関連事業所の開設等に対する支援【14,847千円】

ア IT関連事業所開設支援補助金

市内に新たにIT関連の事業所を開設、または新規雇用を伴う事業拡大により移転等を行う事業者に対し、補助金を交付する。

対象経費	県補助併用の場合（※1）	
	補助率	限度額
①賃借料	1/4以内	30万円/年
②通信回線使用料		
③建物改修費		50万円（※2）
④事務機器取得費		25万円
⑤人件費（※3）	定額	100万円/年

期間 ①②⑤ 3年間（36カ月）、③④開設時1回

※1 別途県補助あり（補助率①～④1/4、⑤定額（上限100万円））

※2 空き家等利用する場合は100万円

※3 高度IT技術者に係る経費に限る

イ 地域課題解決プロジェクト推進補助金

地域社会が抱える課題を解決するための新製品、サービスの開発及び実証実験に市と協働で取り組む事業者に対し、補助金を交付する。

(ア) 補助率 対象経費の1/2以内

(イ) 補助上限額 1,000千円

(ウ) 補助対象期間 事業開始年度含む3年度間

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

19,892千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線2301）

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている			
No.9	事業名	スマート農業推進	2023年度 予算額	363 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ICT（情報技術）やIoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ育む農法の水管理省力化を、低コスト機器で実証するとともに、水田センサーによる水位及び水温のデータを取得・活用して、収量及び品質向上を図る。

1 事業内容

設定した水位で自動的に止水する機能に特化した低コスト機器により、初期導入コストを抑えつつ、水田の見回り時間削減による省力化を図る。

あわせて、2018、2019年度にコウノトリ育む農法（無農薬）省力化実証事業で利用した、水位及び水温をスマートフォン等で確認できる水田センサーを併用設置することにより、水管理の状況を可視化して栽培管理に反映することができ、収量及び品質向上に資する。

2 事業期間

2020年度～2024年度

3 事業主体

豊岡市、農業者等

4 予算額（補助率・負担率等）

363千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



担当課名【農林水産課】（内線2361）

具体的 手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジ する人が増えている	2023 年度 予算額	334, 223 千円
-----------	-------	-----------------------------	----------------	-------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
10	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	58, 220 千円	継続
11	政策アドバイザー設置	3, 000 千円	継続
12	豊岡スマートコミュニティ推進機構	1, 114 千円	継続
13	新規就農総合支援	37, 485 千円	継続
14	豊岡農業スクール	11, 687 千円	継続
15	地域おこし協力隊の推進	222, 717 千円	継続
合計		334, 223 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.10	事業名	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、 豊岡市継業バンクの運用等)	2023 年度 予算額	58, 220 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する人が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的（趣旨）》

- 成長を目指す企業、市内で創業に取り組む者を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

- (1) ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」^{イッポ トヨオカ}の運営
市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。
ア ビジネスに関する総合相談
事業の立ち上げや高度化に必要な助言、



事業計画策定の支援などを行う。

- イ 外部専門家アドバイザー派遣相談
ニッチ分野や企業会計・財務等の専門性の高い相談を対象に、外部専門家を派遣した相談を行う。
- ウ ビジネス勉強会・利用促進セミナーの開催
創業検討者や市内企業等を対象にしたビジネス勉強会やIPPO TOYOOKAの利用促進のためのセミナーを開催する。

(2) 補助制度

- ア 豊岡市創業支援補助金
創業・事業承継に取り組む者のスタートアップに要する経費を支援する。
- イ 豊岡市ステップアップ支援補助金
具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。

制度	対象	商工団体の 伴走支援	補助率及び 補助額	対象経費
豊岡市創業支援 補助金	市内創業予定者 (移住予定者を含む)	必須	3分の1以内（注） 上限100万円	設備導入費、事業所開設費、広告宣伝費等
豊岡市ステップ アップ支援補助金	市内事業者		2分の1以内 下限50万円 上限200万円	設備導入費、事業所改修費、展示会出展費、WEB改修費等

（注）若者（45歳以下の者）及び女性は補助率2分の1

(3) 豊岡市創業支援等事業計画に基づく事業等

- ア 市内商工団体、金融機関及び士業団体で構成する連絡会議の開催
- イ 豊岡市継業バンクによる事業承継の推進
- ウ 地域活性学会（豊岡大会）の開催及び運営支援

2 事業期間

2019年度～2024年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

58,220千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線2301）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.11	事業名	政策アドバイザー設置	2023年度 予算額	3,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- データを活用し、マーケティングの視点を取り入れた事業が継続的に行われている。

《事業目的（趣旨）》

- 政策・施策を実施するにあたり、市政における重要課題など政策的事項又は専門的事項について、専門的知識や技術、経験などを有する方から指導、助言を受ける。

1 事業内容

本市の政策・施策を推進するにあたり、具体的な課題に対し専門的立場から助言等をいただく。

＜助言を求める分野＞

観光データの収集、分析、施策への反映支援や企業との連携に基づくプロジェクトの展開、観光DX推進、インバウンドの推進等

2 事業期間

2018 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,000 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.12 事業名	豊岡スマートコミュニティ推進機構	2023年度 予算額	1,114 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市のまちづくりにおける長期目標である「命への共感に満ちたまち」、戦略目的（中間目標）である「小さな世界都市」の実現を図るため、適切な技術（ICT、IoT、データ活用等）を用いて生活の心地良さを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築する。また、住む人、訪れる人にとっての豊岡市の価値を高め、地域の持続可能性を向上させる。

1 事業内容

スマートコミュニティの実現に向けた各種取組みを推進する。

(1) 地域の交通安全

地域コミュニティ、小学校等と連携し、デジタル技術を活用した交通安全事業を実施する。

(2) 持続可能な地域モビリティの構築

福祉事業者や交通事業者と連携し、高齢者をはじめとした移動弱者を支える持続可能な地域モビリティを構築するための実証事業を実施する。

(3) データ連携基盤等を活用した新たな市民サービスの検討

IT企業、市民等と連携し、データ連携基盤等のデジタル技術を活用した新たな市民サービスの導入を検討する。

2 事業期間

2020年度～



3 事業主体

豊岡スマートコミュニティ推進機構

（豊岡市と一般財団法人トヨタ・モビリティ基金が共同で設立した団体）

4 予算額（補助率・負担率等）

1,114千円（地方創生推進交付金、補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【DX・行財政改革推進課】（内線2041）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.13	事業名	新規就農総合支援	2023年度 予算額	37,485 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業経営者を確保し、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

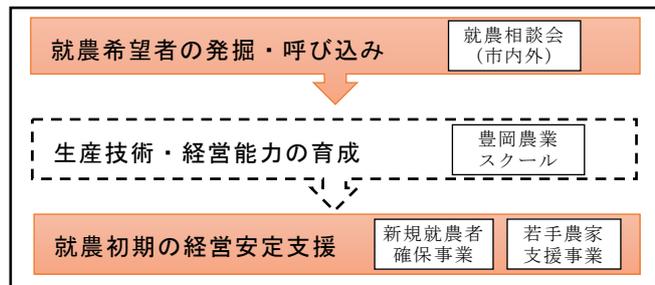
《事業目的（趣旨）》

- 市内で農業経営を行う認定新規就農者（18歳以上45歳未満）を対象に、経営開始直後の資金や、農業設備の導入経費を支援する。また、市外転入者（豊岡農業スクール研修生を含む）には家賃補助を行う。市内で就農する際の経費負担を軽減することで、若者の移住及び農業への定着を推進する。

1 事業内容

- (1) 就農希望者の発掘・呼び込み【45千円】
市内外の相談会で、豊岡の農業の魅力を発信し、有望な人材を呼び込む。
- (2) 新規就農者の経営開始への支援
 - ア 新規就農者確保事業【27,000千円】
 - (ア) 農業次世代人材投資資金
1人あたり最高150万円/年の資金を最長5年間交付する。
 - (イ) 経営開始資金
1人あたり最高150万円/年の資金を最長3年間交付する。
 - (ウ) 経営発展支援事業
経営開始1～2年目における設備導入に対し、経費の3/4以内を補助する（上限750万円。経営開始資金と併用する場合は上限375万円。採択制）。
※上記(ア)は2021年度以前の受給開始者、(イ)及び(ウ)は2022年度以降の受給開始者が対象。
 - イ 若手農家支援事業【10,440千円】
 - (ア) 農業用機械等整備費助成事業
設備導入経費の1/2以内を補助する（上限300万円）。
 - (イ) 家賃補助事業
市に転入する新規就農者等に家賃の1/2以内を補助する（上限2万円/月）。

- 2 事業期間
2015年度～
- 3 事業主体
豊岡市



- 4 予算額（補助率・負担率等）
37,485千円（新規就農者確保事業補助金 補助率：10/10）

担当課名【農林水産課】（内線2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.14	事業名 豊岡農業スクール	2023年度 予算額	11,687 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業経営者を確保し、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 本事業は2013年度に開校し、10年が経過した。次の10年に当たる2023年度から2032年度までを豊岡農業スクール第2期として位置づける。市内での就農を目指す者を対象に、希望する農業分野に応じて、市内の先進的な農業経営者のもとで生産や経営の技能を習得する研修制度を実施する。また、水稻や大豆等、広大な農地を使用する土地利用型経営体（集落営農組織等）の後継者不足も顕著であるため、研修先並びに卒業後の就農先としてのマッチングを図る。

1 事業内容

(1) 農業研修の実施（市認定農業者連絡協議会に委託）

- ア 研修時間 年1,800時間程度（実地研修、座学研修、就農計画作成）
- イ 研修期間 1年間（2023年4月1日から2024年3月31日まで）
※更新により1年間延長可（最長2年間）
- ウ 研修生の募集人数 年5人
- エ 研修生の年齢要件 なし

(2) 就農準備資金

- スクール研修生を対象に、1人あたり最高150万円/年の資金を交付する。
※就農予定時の年齢が50歳未満である等、国の要件を満たす者が対象。

【参考】2021年度末までに23人が卒業して市内で就農し、水稻、野菜、畜産、果樹等の分野で活躍している。

2 事業期間

2013年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,687千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）
（就農準備資金 補助率：10/10）

担当課名【農林水産課】（内線2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.15	事業名	地域おこし協力隊の推進	2023年度 予算額	222,717 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域おこし協力隊制度を活用して着任した隊員が、地域の課題解決に取り組むことで地域の活性化に繋がっている。また、活動期間を満了した隊員が市内で起業するなど、地域に定住している。

《事業目的（趣旨）》

- 総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。

1 事業内容

- (1) 隊員活動の推進
- (2) 隊員の起業支援
- (3) 新規隊員の募集
- (4) お試し協力隊制度（※）を活用した実地体験等の実施
- (5) 協力隊インターン制度（※）を活用した実地体験等の実施
※応募検討者が事前に行う現地での活動体験を支援する制度
お試しは2泊3日以上、インターンは2週間以上の活動体験
- (6) 隊員の活動サポートと勤怠管理

2 事業期間

2014年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

222,717千円

- (1) 隊員活動経費 214,424千円（継続39名153,867千円＋新規16名60,557千円）
- (2) 隊員の起業支援 4,000千円（補助率1/2、上限200万円）
- (3) 新規隊員の募集 2,000千円
- (4) お試し協力隊の実施 1,008千円
- (5) インターンの実施 504千円
- (6) 隊員の活動サポート等 781千円



担当課名【環境経済課】（内線2301）

具体的 手 段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	2023 年度 予算額	2,956 千円
------------	-------	----------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
16	豊岡靴ブランド PR 推進	2,956 千円	継続
重複	(No.9) スマート農業推進	(363 千円)	—
重複	(No.29) コウノトリ育むお米ブランド化推進	(— 千円)	—
合計		2,956 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている			
No.16	事業名	豊岡靴ブランドPR推進	2023 年度 予算額	2,956 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 靴産業を強化することによって、豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡靴」ブランドの価値を向上させる取組みを支援することにより、基盤産業である靴産業の振興を図る。

1 事業内容

(1) 豊岡靴ブランドPR推進事業

兵庫県靴工業組合が「豊岡靴」ブランドの価値向上のために実施する下記の事業に対して補助を行う。

- ア KITTE丸の内店を起点とした豊岡靴のPR戦略・販売強化事業
- イ 海外販路拡大支援
- ウ SDGs 関連商品（廃漁網再生素材の靴）取組支援

(2) 「豊岡靴」東京展示会の開催支援（年2回、KITTE丸の内店地下1階）

2 事業期間

2006年度～

3 事業主体

兵庫県鞆工業組合、豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,956千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



廃漁網再生素材で作られた鞆



担当課名【環境経済課】（内線2301）

具体的 手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	2023年度 予算額	8,963 千円
-----------	-------	------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
17	多文化共生推進	8,963 千円	拡大
重複	(No.6) UIターン推進 (ワンストップ窓口・移住イベント出展・民間移住相談窓口業務等)	(7,418 千円)	—
重複	(No.15) 地域おこし協力隊の推進	(222,717 千円)	—
重複	(No.35) 専門職大学連携推進(移住等促進事業)	(453 千円)	—
合計		8,963 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 _____

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている			
No.17	事業名	多文化共生推進	2023年度 予算額	8,963 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

- 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している

《事業目的(趣旨)》

- 「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態を達成するため、ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できる取組みを推進する。

1 事業内容

- (1) 外国人市民相談窓口の拡充
新たに多言語相談員を配置し、転入者等に豊岡市で生活するために必要な情報の提供を行うとともに、窓口での手続きのサポートや相談受付等を行う。
- (2) 子育て支援総合拠点での外国人市民相談・交流事業及び研修会等開催
 - A 多文化交流サロンの開催(委託)
外国人市民の生活相談や多文化理解の交流事業等を実施する。
 - イ 多文化共生のための研修会開催
外国にルーツを持つ子どもに関する研修ややさしい日本語講座等を開催する。
- (3) 多言語化等によるコミュニケーション支援及び生活支援

ア 市役所業務での多言語対応

映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語での情報提供や相談対応を図るとともに、申請書類、生活情報等を多言語（やさしい日本語を含む）に翻訳し提供する。また、市の事業へ外国語通訳ボランティアを派遣する。

イ 在住外国人コミュニケーション支援事業（補助）

日本語教室の開設運営、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。

(4) 多文化共生推進プランの事業推進

関係機関等から構成される「多文化共生推進会議」でプランの進捗管理を行うとともに、外国人市民の意見を聴くため、ワークショップ等を開催する。

2 事業期間

2019年度～

3 事業主体

豊岡市



多文化交流サロンの様子

4 予算額（補助率・負担率等）

8,963千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

（市町日本語教育体制づくり事業補助金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【生涯学習課】（内線2741）

具体的 手 段	03-01	性別に関わらず地域での協働が 進んでいる	2023 年度 予算額	8,760 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
18	ジェンダーギャップ解消推進	7,054 千円	拡大
19	子育て広場管理	196 千円	継続
20	ファミリーサポートセンター	1,510 千円	継続
合計		8,760 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.18 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	2023 年度 予算額	7,054 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021.3策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

1 事業内容

- (1) 戦略の進行管理・ジェンダー視点の主流化推進
市民主体の戦略会議（委員10人）、市職員による庁内推進委員会（委員12人）を開催し戦略の進行管理を行うとともに、専門家の助言を受けながらジェンダー視点のある政策の実施に向けた取組みを推進する。
- (2) 市民の理解拡大と意識・行動変革の促進
地域コミュニティ組織（モデル地区）、教員、幼稚園教諭・保育士、子育てセンター職員、保健師などを対象に地域啓発推進アドバイザーによる研修・ワークショップを実施する。
- (3) 豊岡みらいチャレンジ塾2023の開催
政策・方針決定過程への女性や若者の参画機会の拡大を図るため、女性を対象とした人材育成プログラムを実施する。（2年目）

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

- (4) 市民向けの意識啓発・理解促進ツールの制作 **新規**
 家族の未来を描くコミュニケーションシート（仮）を作成する。
- (5) ジェンダー平等をテーマにした豊岡市オリジナル絵本の制作 **新規**
 オリジナル絵本を制作し、市内の幼稚園・認定こども園・保育園・小学校・図書館・子育てセンター等に配布し、保育・教育に活用する。

2 事業期間
 2019年度～2030年度

3 事業主体
 豊岡市



豊岡みらいチャレンジ塾2022

4 予算額（補助率・負担率等）
 7,054千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線2094）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる			
No.19	事業名	子育て広場管理	2023年度 予算額	196千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子どもも安心して遊べる子育て広場に親子が訪れ、まちに賑わいが生まれる。子育て世代を身近に感じることで、市民の子育て世代への応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

1 事業内容

子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人が一緒に憩う広場を市内6か所に設置している。

市が管理している豊岡子育て広場（豊岡市役所前）を除く5か所の子育て広場は、地域の「子育て広場芝生化実行委員会」が、除草、施肥等の維持管理を行う。

2 事業期間
 2017年度～

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

196千円



日高子育て広場で遊ぶ子どもたち

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.20 事業名	ファミリーサポートセンター	2023年度 予算額	1,510 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や、一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

で事業のPRを行うとともに、更なる会員獲得のため、2023年度も継続して交流事業を実施する。

※2017年4月センター設立。同年7月から相互援助活動を開始。

会員数328人（2022年12月31日現在）

お願い会員 198人

まかせて会員 58人

どっちも会員 72人

2 事業期間

2017年度 ～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,510千円（国補助金 補助率：基準額の1/3）

（県補助金 補助率：基準額の1/3）



担当課名【こども育成課】（内線2531）

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

具体的 手 段	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	2023 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.18) ジェンダーギャップ解消推進	(7,054 千円)	—
重複	(No.19) 子育て広場管理	(196 千円)	—
合計		— 千円	

※重複は合計から除く

具体的手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	2023年度 予算額	11,130千円
-------	-------	----------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
21	ワークイノベーション推進	5,937千円	継続
22	子育て中の女性の就労促進	5,193千円	継続
合計		11,130千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている			
No.21	事業名	ワークイノベーション推進	2023年度 予算額	5,937千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。
そのことを可視化することによって、若い女性のUIターンの増加や定着につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大

まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

(2) 経営者、管理職の意識改革、行動改革

ア 豊岡市ワークイノベーション推進会議会員事業所を中心に優良事例発表、職場見学、意見交換などの機会を設け、事業所が抱える具体的な課題解決を図る。

イ 職場内に同性の管理職が少なく孤立しやすい女性管理職向けに、モチベーションやスキル向上、職場を越えたネットワーク形成を支援するセミナーを開催する。

(3) 従業員のキャリア形成、ネットワーク形成支援

若手従業員向けに、キャリアやありたい姿について考えたり、ロジカルシンキ

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

ング、プレゼンテーションスキルを学ぶセミナーを開催する。

また、個別の悩みや問題などを多様な知識・経験を有する専門家、地域で活躍するロールモデルなどに相談できる機会を設ける。

(4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

女性の働きやすさ、働きがいが高い水準に達している事業所の表彰を行う。

2 事業期間

2018年～2027年度

3 事業主体

豊岡市



市内事業所の女性従業員向けセミナーの様子(2022. 10. 05)

4 予算額（補助率・負担率等）

5,937千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線2094）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.22 事業名	子育て中の女性の就労促進	2023 年度 予算額	5,193 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをしながら、自分らしく生き生きと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援等）にも併せて取り組み、「デジタルスキル」を身につけて、生き生きと働く女性のロールモデルを示す。
- 子育て支援総合拠点等施設において、子育て中などの働きたい女性の就労支援や活動支援に取り組む。

1 事業内容

(1) 働きたい女性向けのデジタルマーケティング人材の育成と出口戦略

実績を持つIT人材育成の女性講師陣による5カ月間の講義（オンデマンド方式：録画された授業を都合の良い時に視聴、オンライン復習会、対面式のスクーリング）と2カ月間の市内企業へのインターンシップ、さらにキャリア相談や起業・就職相談を実施しながら、デジタルマーケティング人材（10人程度）を育成。

さらに、育成したデジタルマーケティング人材については、ハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議、IPPO TOYOOKAなど関係団体と連携しながら就労先の確保や起業支援に取り組む。

また、豊岡モデル（女性デジタル人材育成の好循環）の全国展開にも取り組む。

- (2) WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内での子育て中の女性の就労・活動支援
アイティ4階のWACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内において、子どもの一時保育機能を活用しながら、関係機関・団体等と連携して、就職相談をはじめ起業相談、お金と未来の相談、キャリア相談等の開設や関連セミナーの開催など、子育て中などの働きたい女性の就労支援や活動支援に総合的に取り組む。

2 事業期間 2021年度～

3 事業主体

豊岡市（協力機関・団体：ハローワーク豊岡、IPPO TOYOOKA、但馬銀行など）

4 予算額（補助率・負担率等）

5,193千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

（地域女性活躍推進交付金 補助率：交付対象額の3/4）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線2094）

具体的 手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	2023 年度 予算額	163,164 千円
-----------	-------	-----------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
23	城崎温泉街交通環境改善	389 千円	継続
24	観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	13,468 千円	継続
25	観光まちづくり推進 (専門人材配置)	49,515 千円	継続
26	インバウンド誘客推進	29,999 千円	継続
27	豊岡演劇祭協同開催	59,333 千円	継続
28	文化観光推進	10,460 千円	継続
合計		163,164 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.23	事業名	城崎温泉街交通環境改善	2023 年度 予算額	389 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 城崎温泉街で、観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1 事業内容

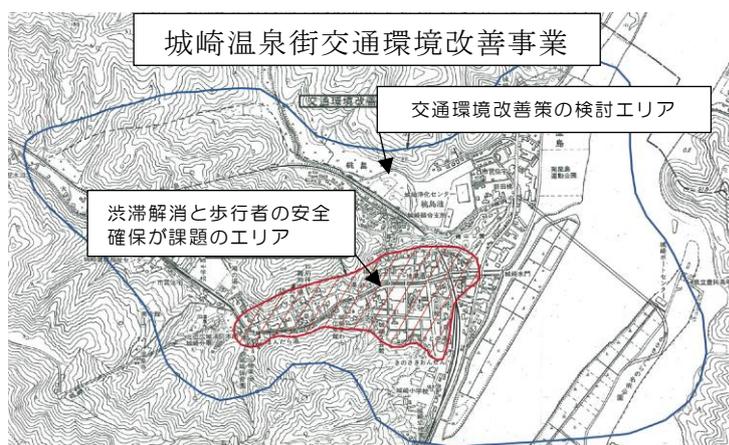
- (1) 城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動
- (2) 桃島バイパスを活用した交通迂回策の検討協議

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

2 事業期間
2015年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
389千円



城崎温泉関係事業者による「そぞろ歩きルール」
連絡調整会議の様子（2022年12月22日）

担当課名【建設課】（内線2421）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.24 事業名	観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）	2023年度 予算額	13,468 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力が多くのメディアに取り上げられ、「豊岡のローカル」が外部から高い評価を得ることで、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。
- 客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。
- ウィズコロナ社会における需要にも対応し、より多くの「豊岡ファン」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 国内外のテレビ、雑誌等への露出や旅行商品造成につなげる。
- 観光に関する様々なデータを活用し、地域への経済波及効果を高める。
- 大交流ビジョンの実現に向け、ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据えた「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、誘客促進を図る。

1 事業内容

(1) メディア・旅行エージェント招聘事業【3,000千円】

国内外のテレビ・雑誌・WEBサイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェントなどをターゲットに、市の取組みや観光地への取材及びメディア掲載を増やしていくため、招聘者の取材地までの経費負担、取材先調整、取材同行を行う。

(2) 「TOYOOKA_CITY Free Wi-Fi」公衆無線LAN運用業務【660千円】

公衆無線LANサービスに必要な通信設備、関連設備の運用並びに保守管理、電波状況の監視を行う。

(3) 観光施策に係る評価指標データ収集業務【2,970千円】

来訪者の動態、動向を多角的に分析するため、携帯電話ネットワークの仕組みを利用して、本市への来訪者の定量分析調査を行う。

(4) 国内誘客推進（豊岡観光イノベーション負担金）【6,838千円】

ア 来訪者アンケート

豊岡市大交流ビジョンの目標数値を達成するため、評価指標データを収集し、分析する来訪者アンケートを行う。

イ 国内WEBマーケティング

地域の事業者と連携したプログラムの開発や、市内の情報を発信する記事コンテンツの作成とWEB・SNSマーケティングを行い、サイト訪問者の増加と旅の目的地・滞在先としての認知向上、リピートや市内周遊による滞在時間の延長を促進する。

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

ウ 国内プロモーション

テーマやターゲットを絞ったキャンペーンを実施することにより、旅行先として豊岡を選択してもらうとともに、市内の周遊促進や消費拡大を促す。

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

(1)～(3)豊岡市

(4)一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

13,468千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.25	事業名	観光まちづくり推進 （専門人材配置）	2023年度 予算額	49,515 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に市民や幅広い産業、関係団体が相互に連携しながら「大交流モデル」を推進することで「大交流ビジョン」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 民間企業で培った専門的な知識や経験、人脈を持った人材やマーケティングの専門家を配置し、「大交流ビジョン」の推進を図る。
また、「大交流ビジョン」の推進体制の中心に位置づけた一般社団法人豊岡観光イノベーション（以下、TTI）のプロパー人材の配置を支援する。さらに、TTIの体制を強化するため、市からの派遣職員を増員する。

1 事業内容

企業人、データアナリスト、TTIプロパー人材の配置、市職員の派遣

(1) 企業人配置

ア 西日本旅客鉄道株式会社

イ 日本航空株式会社

(2) データアナリストの配置

(3) プロパー人材の配置

(4) 市職員の派遣

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

49,515千円

（企業人配置は、総務省「地域活性化起業人制度」を活用）

担当課名【大交流課】（内線2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.26	事業名	インバウンド誘客推進	2023年度 予算額	29,999 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 対象市場における豊岡の認知度が高まり、海外の人々が豊岡の観光情報を容易かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、本市を訪れる外国人観光客が増加し、来訪者の満足度が向上している。

《事業目的（趣旨）》

- 対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。

1 事業内容

- (1) 豊岡市外国語版ホームページ管理業務【2,299千円】
外国語版WEBサイト「Visit Kinosaki」の適切な保守管理を行い、情報発信や宿泊予約が可能な体制を整備し、外国人宿泊者の獲得につなげる。
- (2) 海外向け豊岡市総合サイト管理運営業務【359千円】
2019年度に制作した海外向け豊岡市総合サイトを、コウノトリ野生復帰の情報を発信するポータルサイトに融合し市全体の魅力を発信することで、興味喚起を図る。
- (3) インフォメーションカウンター運営委託業務【3,506千円】
城崎温泉ツーリストインフォメーション（SOZORO）を、外国人観光客の拠点施設として活用し、インフォメーション機能の強化及び着地型ツアーの販売促進により、平均泊数、滞在時間、周遊エリア数を増加させる。
加えて、国内外の来訪者へのアンケート調査・入力集計業務によりマーケティングの基礎データを収集する。

(4) 外国人スタッフ配置事業（JET プログラム）【2,532 千円】

既配置のフランス人 CIR（国際交流員）1 名、アメリカ人 CIR 1 名を引き続き配置する。なお、フランス人 CIR については、7 月で任期満了になるため、8 月から新たに後任 1 名を配置する。

(5) 海外誘客推進（豊岡観光イノベーション負担金）【21,303 千円】

ア 豊岡市外国語版ホームページ運用業務

外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」において、宿泊プラン・体験プログラムの販売、宿泊及び体験事業者との調整、精算業務、キャンセル対応、問合せ対応など、運営業務を行う。

イ 豊岡市外国語版ホームページコンテンツ制作業務

外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」のコンテンツ強化により、サイト流入数の増加を図り、外国人観光客の集客につなげるとともに、市内観光地に周遊させ、本市での滞在時間と観光消費額の拡大を図る。

ウ 海外市場向け広告運用事業

欧米豪・台湾に向け、Web 広告配信により外国語版 Web サイト「Visit Kinosaki」に流入させ、認知度・興味度を高め、宿泊予約を促進する。

エ 海外プロモーション事業

国内ランドオペレーター等へのセールス、国内外オンライン商談会参加、海外旅行会社やメディアへのメールマーケティングなど情報発信に取り組むとともに、他地域 DMO との広域連携により、本市の認知度向上、誘客を促進する。

オ 観光レップ事業

対象市場の米仏豪と台湾の 4 市場において、現地市場状況の定期報告と、現地メディア・エージェントへの誘客のための情報提供や営業、招請、現地旅行博への代理参加など行ってもらう代理業者と契約し、海外でのメディア露出や旅行商品の造成により、誘客を促進する。

カ 高付加価値ツーリズム推進事業

海外から高付加価値旅行者層を誘客するため、コンテンツ開発や、ガイド養成を行う。

2 事業期間

2013 年度～

3 事業主体

(1)～(4)豊岡市

(5)一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

29,999 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.27	事業名	豊岡演劇祭協同開催	2023年度 予算額	59,333 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡演劇祭が演ずる者、観る者のいずれにとっても価値のある場所となり、世界中から人々が訪れている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。
また、演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを図る。

1 事業内容

(1) 豊岡演劇祭の開催支援

ア 豊岡演劇祭2023

(ア) 日程 2023年9月14日～24日

(イ) 会場 城崎国際アートセンター、江原河畔劇場、豊岡市民会館、豊岡市民プラザ 他

(ウ) 演目 プログラム、フリンジプログラム、連携プログラム 他

(2) 豊岡演劇祭実行委員会の運営

ア 総会の開催、事務局業務

2 事業期間

2019年度～

3 事業主体

豊岡演劇祭実行委員会



『新・豊岡かよっ!』
Photo: igaki photo studio



ナイトマーケット

4 予算額（補助率・負担率等）

59,333千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.28	事業名	文化観光推進	2023年度 予算額	10,460 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のローカルをさらに磨きあげることで文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 「小さな世界都市-Local & Global City-」の実現に向け、本市の文化資源である“深さをもった演劇のまちづくり”を推進し、豊岡の突き抜けた価値を創造する。

1 事業内容

(1) 但東地域交流プログラム「但東さいさい」事業【3,960千円】

国内でも稀に見るほど、多くの舞堂（歌舞伎舞台）が現存する但東地域において、舞台芸能を地域とともに再考し、新たな文化資源へと昇華させるため、地域の子どもたちとワークショップを通じた神楽作品の創作と公演を行う。

(2) 玄武洞公園での公演、イベントに対応する設備の整備【6,500千円】

「自然を見せる屋外ミュージアム」をコンセプトに新しくなった玄武洞公園で、幻想的なライトアップなどのイベントを定期的に行うことにより国の特別天然記念物玄武洞の魅力を発信し集客につなげるための設備の整備を行う。

2 事業期間

2021年度～2025年度

3 事業主体

豊岡市



但東さいさい
Photo : bozzo



玄武洞ライトアップ
Photo : Nacasa & Partners

4 予算額（補助率・負担率等）

10,460千円（文化芸術振興費補助金 補助率2/3）

担当課名【大交流課】（内線2321）

具体的手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	2023年度 予算額	— 千円
-------	-------	-------------------	---------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
29	コウノトリ育むお米ブランド化推進	— 千円	継続
重複	(No.34) アーティスト・イン・レジデンス	(18,270 千円)	—
合計		— 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている		
No.29	事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進	2023年度 予算額	- 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により、農村に子どもたちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」で栽培されたお米の真のブランド化を図り、市場経済に認められた持続可能な農業を振興する。

1 事業内容

海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。

※豊岡市外国語版HP「Toyooka City Global Site」にコウノトリ育む農法ページを掲載(2020年度から公開済)。

2 事業期間

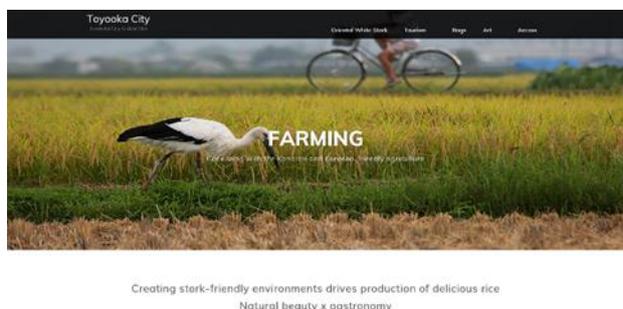
2012年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

コウノトリ育む農法推進事業費の中で一体的に取り組む。



担当課名【農林水産課】（内線2361）

具体的 手 段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	2023 年度 予算額	141,618 千円
------------	-------	----------------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
30	出石永楽館歌舞伎開催	79,740 千円	継続
31	豊岡アートシーズン 2023	9,985 千円	継続
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン 2023 参加)	7,000 千円	継続
33	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2023 参加等)	24,170 千円	継続
34	アーティスト・イン・レジデンス	18,270 千円	継続
35	専門職大学連携推進(移住等促進事業)	453 千円	継続
36	演劇のまちづくり推進	2,000 千円	継続
重複	(No.15) 地域おこし協力隊の推進	(222,717 千円)	—
重複	(No.17) 多文化共生推進	(8,963 千円)	—
重複	(No.27) 豊岡演劇祭協同開催	(59,333 千円)	—
重複	(No.37) 専門職大学連携推進(地域連携事業)	(11,431 千円)	—
合計		141,618 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 _____

戦略・手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.30 事業名	出石永楽館歌舞伎開催	2023年度 予算額	79,740 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○ 全国の歌舞伎ファンが、恒例の行事として永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。

また、わが町の歌舞伎公演として、多くの市民が公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

○ 出石永楽館は、近畿最古の芝居小屋であるとともに、上方歌舞伎の舞台様式を残した、数少ない劇場でもある。

2008年に復原したのち、その特徴を生かすため、上方歌舞伎の公演・出演俳優にこだわって歌舞伎公演を開催し続けている。

永楽館でしか味わうことのできない、昔にタイムスリップしたような懐かしい雰囲気と、出演俳優の汗まで感じる事が出来る距離感を来館者に楽しんでいただく。

1 事業内容

(1) 公演期間
講演時期調整中 7日間公演（予定）

(2) 公演回数
13回公演（予定）

(3) 会場
豊岡市立出石永楽館

(4) 内容
上方歌舞伎の公演

(5) 料金
一般12,000円、学生3,000円（全席指定席）

※学生料金の対象者は、市内在住または市内学校に通学する小・中学生、高校生。



満員の客席内の様子

2 事業期間

2008年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

79,740千円

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線5607）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.31 事業名	豊岡アートシーズン 2023	2023 年度 予算額	9,985 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
- 世界的な作品が豊岡で創作、発信されていることで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している文化芸術事業を「豊岡アートシーズン」という枠組みで一体的に展開することにより、「文化芸術のまち豊岡」のイメージを市内外に発信し、豊岡の魅力と豊岡に暮らすことの価値を高める。
- 豊岡に居ながらにして世界とつながることができる、優れた文化芸術体験を子どもたちに浴びせかけ（豊岡市文化芸術振興計画）、豊岡に暮らすことの価値を高めるとともに、豊岡で暮らしたいと考える若い世代を育てる。

1 事業内容

- (1) 市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している多彩なジャンルの文化芸術プログラムを「Toyooka Art Season 2023（豊岡アートシーズン2023）」として広報
- (2) 市内の小学校2年生全員を対象に、子どもたちの意見を基に議論しながら進む、子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演、6年生全員を対象に、出石永楽館で伝統芸能に親しむ「出石永楽館狂言鑑賞教室」公演及び主に若年層・子育て世代を対象に、アートに親しむイベント「豊岡アート縁日」の開催

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

9,985千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の1/2以内）

<内訳> 豊岡アートシーズン2023広報等 1,729千円
 共通イベント「豊岡アート縁日」 652千円
 子ども参加型演劇『サンタクロース会議』 5,511千円
 出石永楽館狂言鑑賞教室 2,093千円

※豊岡アートシーズン2023参加事業全体の予算額については、次頁参照

【参考】

<Toyooka Art Season 2023の主要プログラム> ※日程は変更の可能性あり

No.	プログラム	開催日程	開催場所	所管課
①	とよおかアート縁日	7月22日	豊岡市民プラザ	文化・スポーツ振興課
②	出石永楽館狂言鑑賞教室	12月中旬	出石永楽館	〃
③	子ども参加型演劇『サンタクロース会議』	11月中旬	江原河畔劇場	〃
④	おでかけ訪問コンサート	4月～10月	市内各小学校等	〃
⑤	豊岡ブラスフェスタ2023	10月7日	豊岡市民会館	〃
⑥	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぷの祭典」	5月30日～6月4日	市内各所	生涯学習課
⑦	劇の学校	7月～11月	豊岡市民プラザ	〃
⑧	市民演劇プロジェクト2023	9月2・3日	豊岡市民プラザ	〃
⑨	おとなの演劇学校2023	10月～11月	豊岡市民プラザ	〃
⑩	こども向け舞台芸術体験事業	12月	豊岡市民プラザ	〃
⑪	佐藤朋子『TWO FEMALES — ツル/アンティゴネ』	9月	城崎国際アートセンター	大交流課
⑫	荒木優光/台風の目『トーキングヘッズ(仮)』	9月	城崎国際アートセンター	〃
⑬	ユニ・ホン・シャープ『Encore』	9月	城崎国際アートセンター	〃
⑭	KIACコミュニティプログラム2023① 日本相撲聞芸術作曲家協議会(JACSHA) 「おんがくワークショップ+竹野相撲甚句ファンファーレ2023 コンサート(仮)」	通年	城崎国際アートセンター 竹野中学校	〃
⑮	KIACコミュニティプログラム2023② 太田奈緒美:タケノ時空間散歩 『この家で — 이 집에서<in this house>』	2024年2月	竹野・田中邸	〃
⑯	KIACコミュニティプログラム2023③ 波田野州平「海やまのあいだ」	12月	城崎国際アートセンター	〃

※豊岡アートシーズン2023主要プログラム全体の予算額 29,215千円

<内訳> ○数字は上表のプログラムNo.

文化・スポーツ振興課	文化芸術創造交流事業(広報等、①～③)	9,985千円
	市民会館自主事業(④・⑤)	1,131千円
生涯学習課	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業(⑥)	7,000千円
	市民プラザ事業(⑦～⑩)	6,229千円
大交流課	城崎国際アートセンター事業(⑪～⑯)	4,870千円

担当課名【文化・スポーツ振興課】(内線2771)

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.32 事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催 (豊岡アートシーズン2023参加)	2023年度 予算額	7,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとや音楽への愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- “世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ”というスローガンのもと、子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながら世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。

1 事業内容

『第9回おんぶの祭典』 5月30日（火）～6月4日（日）の6日間

(1) 企画内容

- ア 子どもたちのためのコンサート
(豊岡市民プラザ、弘道地区コミュニティセンター・未就学児親子向け)
- イ 学校訪問コンサート 小学校3校、中学校3校(学校関係者のみ)
- ウ 街角コンサート 6か所(旧市町単位)
- エ 稽古堂イブニングコンサート(5日間連続開催、演奏者は日替わり)
- オ キッズコンサート・ファイナルコンサート(豊岡市民会館文化ホール)
- カ 公開リハーサル(豊岡市民会館文化ホール)
- キ 楽器ワンポイントレッスン(豊岡稽古堂)

(2) 出演者

アンサンブル・ウィーン東京(弦楽4名)、シュバシコウ・カルテット(弦楽4名)、こうのとりのクインテット(木管5名)、碓井俊樹 ほか

※内容は調整中のため変更になる可能性がある。

2 事業期間

2014年度～2024年度

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額(補助率・負担率等)

7,000千円(文化芸術振興費補助金 補助率:補助対象経費の1/2以内)



担当課名【生涯学習課】(内線2741)

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.33 事業名	城崎国際アートセンター運営・事業 (アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2023 参加等)	2023 年度 予算額	24,170 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 芸術文化の国際的戦略拠点として芸術活動を推進するとともに、地域との連携及び情報発信を強化する。
- 専門的な知識を有する人材を配置し、運営体制の強化に努める。

1 事業内容

- (1) 芸術監督等の採用、アートマネジメント等業務の委託【14,412千円】
次のスタッフを配置する。
ア 芸術監督 市原 佐都子（非常勤）
イ 館長 志賀 玲子（職員）
ウ プログラムディレクター、地域連携ディレクター 各1名（業務委託）
- (2) 文化芸術創造交流事業【4,870千円】 ※豊岡アートシーズン2023参加事業
ア 佐藤朋子『TWO FEMAILS-ツル|アンティゴネ』、荒木優光/台風の目『トーキングヘッズ（仮）』など
(ア) 日時 2023年8月～9月
(イ) 場所 城崎国際アートセンター
(ウ) 内容 2022年に城崎国際アートセンターで滞在制作を行ったアーティストらによる成果発表公演。
イ KIACコミュニティプログラム2023
日本相撲聞芸術作曲家協議会、太田奈緒美、波田野州平
(ア) 日時 2023年4月～2024年3月
(イ) 場所 竹野地域（予定）
(ウ) 内容 各アーティストが、地域の様々な文化・資源や地域住民との関わりを継続・発展させるため、「調査」「記録」「共有」「活用」の4要素を軸に展開するリサーチベースのプロジェクト。
- (3) パフォーミングアーツによる集落活性化業務の委託【4,450千円】
地域の現状と課題を認識し、地区に関心を持ったアーティストの目線を使い、地域資源を活用するなど、課題解決策や地区の活性化につなげる業務を行う。
- (4) 芸術文化情報発信事業【438千円】
ウェブサイトの有効運用を継続するとともに、「アートセンター通信」による

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

さらなる情報発信に努め、KIAC事業の周知及び賛同を呼び掛ける。

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

24,170千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

（文化芸術創造拠点形成事業補助金 補助率：補助対象経費の3/10）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.34 事業名	アーティスト・イン・レジデンス	2023年度 予算額	18,270 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

- 公募により選考された国内外からの滞在アーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

1 事業内容

(1) 2023年度実施事業

- ア 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考【1,328千円】
滞在アーティストを募集、選考委員会を開催し、年間計画をまとめる。
- イ 地域交流プログラム実施、舞台操作等レジデンス支援【7,810千円】
滞在期間中に地域住民等との交流活動を実施し、滞在制作の支援を行う。
- ウ アーティスト・イン・レジデンス プログラム事業PR【4,659千円】
滞在制作及び活動状況PRをはじめ年間プログラムを作成する。
- エ アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業【4,473千円】
芸術家等の派遣・招聘により、海外アーティスト・イン・レジデンス施設と交流を図る文化庁助成事業。

(2) 2023年度アーティスト・イン・レジデンス事業計画

- ア 募集・応募件数、国数 51件、15カ国
- イ 選考件数、国数 12件、3カ国

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

18,270千円（アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業費補助金
補助率：補助対象経費の10/10）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.35 事業名	専門職大学連携推進 (移住等促進事業)	2023年度 予算額	453 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 芸術文化観光専門職大学の学生が卒業後も豊岡に住み続けている。
- センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

- アーティスト・クリエイターの移住等により、
 - 1 多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり
 - 2 優れた文化芸術を創造し、人々が楽しむまちづくり
 - 3 センスのいいまちづくり
 を促し、「小さな世界都市－Local & Global City－」の実現に資する。

1 事業内容

(1) 市内企業ツアーの実施

芸術文化観光専門職大学の学生が豊岡の企業への就職に興味を持ち、卒業後も豊岡に住み続けるためのきっかけ作りとして、3年生を対象に市内企業を回るツアーを実施する。

(2) 市内企業交流会の実施

芸術文化観光専門職大学の学生と企業の担当者をつなぐ場として、3年生と市内企業を対象に交流会を実施する。

(3) アーティスト・クリエイター移住説明会

豊岡演劇祭参加アーティスト等をターゲットとしたオンライン説明会兼相談会を開催する。

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

453千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.36	事業名	演劇のまちづくり推進	2023年度 予算額	2,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 社会や生活の様々な場面に演劇や演劇的なものの考え方などが染み込んだ「深さをもった演劇のまち」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 「深さをもった演劇のまち」創出に向けて、市民をはじめ市内外の方々に演劇を通じて多様性理解を促す機会を提供する。

1 事業内容

(1) 深さをもった演劇のまちづくり推進コーディネーターの配置

深さをもった演劇のまちづくりを推進していくため、コーディネーターを配置し、市民をはじめ市内外の方々へ向けて理解を促す取組みを実施する。

2 事業期間

2020年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,000千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

具体的 手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	2023年度 予算額	11,431 千円
-----------	-------	-----------------------	---------------	-----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
37	専門職大学連携推進（地域連携事業）	11,431 千円	継続
重複	(No.5) U I ターン推進（高校生の総合学習等支援）	(2,100 千円)	—
重複	(No.27) 豊岡演劇祭協同開催	(59,333 千円)	—
重複	(No.41) 英語教育推進	(11,210 千円)	—
合計		11,431 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている			
No.37	事業名	専門職大学連携推進 （地域連携事業）	2023年度 予算額	11,431 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 専門職大学で学ぶ若者と地域が一体となって地域課題解決のための連携を加速的に進め、地域活性化の先進地として全国に波及している。

《事業目的（趣旨）》

- 本市における地方創生の大きな推進力として期待される「芸術文化観光専門職大学」と積極的に連携・協働することで、若年層の転出抑制をはじめ、地域産業を担う高度な専門的職業人の育成や地元企業に就職する若者を増やす。
また、大学が有する機能や多様な専門的人材の知識を最大限活用し、協働して地域課題の解決を図るとともに、学生が地域に溶け込み様々な活動を実践、活躍できるよう支援することで、新たな価値の創造や地域への定着を図る。

1 事業内容

地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。

(1) 豊岡市高大連携事業実施業務

市内の高校生（高等専修学校生、特別支援学校高等部生含む）を対象に、コミュニケーションワークショップを実施し、潜在的コミュニケーション能力を引き出す。

- (2) 豊岡市ジュニアプレカレッジ事業実施業務
市内の中学3年生を対象に、模擬講義の受講や施設・授業の見学を行い、高等教育機関である大学というものを知り、知的好奇心を高めることで、主体的な進路選択に対する動機付けにつなげる。
- (3) 豊岡市コミュニティ・ツーリズム推進事業実施業務
コロナ禍により生まれた消費や観光に対する新たな価値観に対応するため、観光コンテンツに健康機能を付加するなど、新たな体験カルチャーの創出と市場の開拓を行うことで、市内周遊、長期滞在、リピーターにつながる仕組みを構築し、持続可能な観光地を実現する。
- (4) 豊岡市多文化共生推進事業実施業務
外国にルーツを持つ子どもを対象に母語・継承語（親の母語）、母文化を学ぶ機会を提供し、自己のアイデンティティの確立を促すとともに、お互いの文化や生活習慣の違いを尊重できる人材を育成する。
- (5) 専門職大学教員・豊岡市提案事業実施業務
その他、地域課題の解決につながる事業をRICと調整し、実施する。

2 事業期間

2021年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,431千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2321）

具体的 手 段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく 知っている	2023 年度 予算額	3,000 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
38	ふるさと教育推進	2,600 千円	継続
39	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	400 千円	継続
重複	(No.5) UI ターン推進 (高校生の総合学 習等支援)	(2,100 千円)	—
合計		3,000 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細 (以下、事業ごとの説明)】 _____

手段	05 - 01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.38	事業名	ふるさと教育推進	2023 年度 予算額	2,600 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像 (姿)》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的 (趣旨)》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

2 事業期間

2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,600千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

担当課名【こども教育課】（内線2721）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.39 事業名	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	2023年度 予算額	400 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元を誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となりうることに對する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について補助（補助率2/3）を行う。

(1) 「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

- ア 子ども向けのものづくり体験やおもしろ教室
- イ 会員企業等の製品・技術の紹介を行う企業展示 ほか

2 事業期間

2014年度～

3 事業主体

豊岡市工業会

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

4 予算額（補助率・負担率等）

400千円



『おっとりっしゃ！とよおかのものづくり7』（2022.7.23-24）の様子

担当課名【環境経済課】（内線2301）

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

具体的 手 段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2023 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-----------------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.5) UI ターン推進 (高校生の総合学習等支援)	(2,100 千円)	—
重複	(No.38) ふるさと教育推進	(2,600 千円)	—
合計		— 千円	

※重複の予算額は除く

具体的 手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2023年度 予算額	18,710 千円
-----------	-------	-----------------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
40	コミュニケーション教育推進	499 千円	継続
41	英語教育推進	11,210 千円	継続
42	非認知能力向上対策	4,335 千円	拡大
43	英語遊び保育推進	2,666 千円	継続
合計		18,710 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.40	事業名	コミュニケーション教育推進	2023年度 予算額	499 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Iターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組みを行う。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

(2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

499千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

担当課名【こども教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.41	事業名	英語教育推進	2023年度 予算額	11,210 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○ ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

○ 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。

1 事業内容

- (1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
- (2) すべての小学校に配置しているALTとのティーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。（JETプログラムALTを10名配置）
- (3) 英語教育推進委員会（構成員 校長2名、教職員10名）において豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
- (4) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会（豊岡市英語教育研修会）を実施する。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

- (5) イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学3年生）を実施する。
- (6) 小学校5、6年生対象の指導者用デジタル教科書（教材）を購入する。

2 事業期間
2016年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
11,210千円

担当課名【こども教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.42	事業名	非認知能力向上対策	2023年度 予算額	4,335 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことを目指す。

1 事業内容

- (1) 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施
 - ア 市内の小学校1年生すべてと2年生のモデル校（6学級）を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施する。
 - イ 指導には、専門性を持つ演劇関係者をファシリテーターとして活用する。
- (2) 演劇ワークショップの効果測定の実施
 - ア すべての小学校において演劇ワークショップによる非認知能力向上への効果測定を実施する。
 - イ 効果測定は、青山学院大学の荻宿俊文教授の研究チームへの受託研究で実施する。

2 事業期間

2019年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,335千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

担当課名【こども教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.43 事業名	英語遊び保育推進	2023 年度 予算額	2,666 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている
- 自己肯定感を持てる子が増えている

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味をもとうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュの）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内の幼稚園・保育園・認定こども園（4・5歳児クラス）

イ 実施回数 年間15回程度
（2週間に1回程度）

ウ 時間 5歳児・40分、4歳児・30分

エ 指導者 英語遊び指導員 3名

(2) 英語遊び研修会の実施

幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。



「Hello！」
元気にあいさつする子ども達

(3) 英語遊び通信の発行

保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。

2 事業期間

2015～2016年度 6モデル園で先行的に実施
2017年度～ 市内の公・私立園に展開実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

2,666千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

具体的手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	2023年度 予算額	428 千円
-------	-------	-------------------	---------------	--------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
44	若者独身者交流	428 千円	継続

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている			
No.44	事業名	若者独身者交流	2023年度 予算額	428 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 若者の手により、自然な交流の機会が増える。
(若者自身による世話やきの充実)

《事業目的（趣旨）》

- 気軽に交流できる場を設けることで、若者の交流を促進し恋愛機運を高める。

1 事業内容

「婚活事業」はハードルが高いと感じて婚活イベントに参加しない若者を対象に交流の機会を設ける。

「はーとピー企画委員」が中心となり、内容を企画、運営するなど若者自身の手による交流を促進する。

- 対象者 20歳～40歳の独身者
- 開催時期 月に1回（予定）
- 開催場所 市内レンタルスペース、飲食店等
- 事業内容 「はーとピー企画委員」が毎月企画・運営
趣味、恋愛、生きがいなどテーマを決めてフリートーク、スポーツ、レクリエーション、ゲーム、飲食などによる交流

2 事業期間

2021年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

428千円



若者交流事業の様子

担当課名【健康増進課】（内線3101）

具体的 手 段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実 している	2023 年度 予算額	3,579 千円
------------	-------	------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
45	ボランティア仲人養成 (WEDDING プロデュース大作戦)	778 千円	継続
46	出会い機会創出 (はーとピー)	2,801 千円	継続
重複	(No.44) 若者独身者交流	(428 千円)	—
合計		3,579 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している			
No.45	事業名	ボランティア仲人養成 (WEDDING プロデュース大作戦)	2023 年度 予算額	778 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- お見合いイベントを実施することにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

ファッションや美容のプロの手により素敵に変身した姿で、食事会に参加する。

(1) 「WEDDINGプロデュース大作戦」事業の流れ

ア 男女各10人を募集

イ 男性は、事前に服装に関するアドバイスをアパレルショップオーナーから受ける。

ウ イベント当日、女性は、美容師とスタイリストによるヘアセット、メイクで魅惑の変身。男性は、ヘアセットとおもてなしの講座を受講する。

エ ファッションや美容のプロの手によって、さらに素敵に変身した姿で食事会に参加する。（個別に写真撮影も行います。）

オ カード（気になる異性の氏名等を記入）によるカップリングを実施する。

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

(2) 開催回数
2回 7月と3月に開催予定

(3) 開催場所
豊岡稽古堂他

2 事業期間
2019年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額
778千円



「WEDDING プロデュース大作戦」の様子

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.46 事業名	出会い機会創出 (はーとピー)	2023年度 予算額	2,801千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を開催し、結婚を支援する。

1 事業内容

市の補助により2013年度から社会福祉協議会で実施し、2019年度から市主催として実施していた婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施する。

(1) 婚活イベント予定開催回数
年間12回

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

(2) マリッジアドバイザーが行うアフターフォロー

○イベントカップルの交際フォロー、相談業務

○「縁むすびさん」と連携したお見合い

※事業実績

2013～2022年度（1月末現在）累計

107回開催、参加者2,741人、518カップル成立、成婚58組

2 事業期間

2013年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

2,801千円



婚活イベント（はーとピー）の様子

担当課名【健康増進課】（内線3101）

具体的 手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	2023年度 予算額	2,761 千円
-----------	-------	--------------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
47	ボランティア仲人養成 (縁むすびさん)	1,808 千円	継続
48	結婚相談所機能拡充	500 千円	継続
49	結婚・女性活躍推進調査	453 千円	継続
重複	(No.46) 出会い機会創出 (はーとピー)	(2,801 千円)	—
合計		2,761 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細 (以下、事業ごとの説明)】

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.47	事業名	ボランティア仲人養成 (縁むすびさん)	2023年度 予算額	1,808 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像 (姿)》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
(市民による世話やきの充実)

《事業目的 (趣旨)》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。

(1) 「縁むすびさん」登録後の活動の流れ

独身者への呼びかけ ⇒ お相手探し ⇒ 紹介 ⇒ 引き合わせ (お見合い)



主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

(2) 「縁むすびさん」への主な支援

- ア 登録時に「登録セミナー」を開催
- イ 研修と情報交換を行う「縁結び会議」を毎月開催
- ウ 会報「まいまいだより」の発行による啓発
- エ 報奨金の支給（成婚1組につき3万円）

※2022年度事業実績（2023年1月末現在）

- ① 縁むすびさん 58人（男性18人、女性40人）
- ② 登録結婚希望者 396人（男性217人、女性179人）
- ③ お見合い数 延べ282回
- ④ 成婚実績 12組

- 2 事業期間
2017年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額
1,808千円



結婚を支援する縁むすびさんたち

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.48	事業名	結婚相談所機能拡充	2023年度 予算額	500千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 結婚相談所による成婚数が増加している。
（公的団体（社会福祉協議会）による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 社会福祉協議会が実施する結婚相談所（Hapimari）事業費の一部に補助し、活動を活性化することにより結婚を促進する。

1 事業内容

社会福祉協議会に所属する結婚相談所のボランティア相談員のモチベーションを維持・向上するため、成婚報奨金の経費を補助する。

結婚相談所のPRや登録者増加を図るために要する経費を補助する。

- (1) 成婚報奨金（成婚1組3万円）
- (2) 結婚相談所PR、機能整備経費
2016年度事業開始後の成婚数（2023年1月時点） 成婚数30組

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

500千円



社会福祉協議会 結婚相談所（Hapimari）HP

担当課名【健康増進課】（内線3101）

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している			
No.49	事業名	結婚・女性活躍推進調査	2023年度 予算額	453千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
- 子育てをポジティブにとらえる人が増え、希望どおりの人数の子どもを持つ家庭が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 結婚支援事業を推進するための調査・研究を行う。

1 事業内容

地方創生に係る結婚の支援を推進するため、研修、視察等を行い、より効果的な事業の推進を図るとともに、用品の購入等事務に必要な経費を措置する。

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

453千円



おせわをやきたい。

まちをあげて
結婚を支援する市のロゴマーク

担当課名【健康増進課】（内線3101）